

御 礼

第 58 回 日本高気圧潜水医学会 学術総会
学会長 川 崑 眞之
(社会医療法人玄真堂 川崑整形外科病院 院長)

この度、第 58 回日本高気圧潜水医学会学術総会の学会長を仰せつかり、無事に終了することができたことに安堵しております。これもひとえに会員皆様、学会事務局、協賛各社様、ゲストの皆様、運営に携わってくれた当院職員のご協力のおかげだと思っております。改めて心よりお礼申し上げます。

学会長をご指名いただいた当初は、日本高気圧環境・潜水医学会 (JSHUM) と日本臨床高気圧酸素・潜水医学会 (JACHOD) の合併後初めての記念すべき学術総会を中津の地で開催させていただくことに大変な名誉を感じるとともに、新学会の第 1 歩という責任を強く感じたことを思い出します。地方での開催に参加者や演題が十分集まるのだろうかという不安もありましたが、終わってみれば参加者 321 名、演題数 80 演題と心配は杞憂に終わりました。新学会特別企画、特別講演、シンポジウム、ランチョンセミナー、イブニングセミナー、会長講演、一般演題と合計 21 セッションを企画することができました。多くの専門分野からご発表をいただき、参加の皆様も関心を惹くセッションが何かしらあったのではないのでしょうか。また、2 日目には海洋医療初期対応研修 (ICMM) を奥寺先生ご指導のもと開催することができ、51 名が受講しました。近隣の消防、警察をはじめ潜水事業者からも参加していただき、ICMM の目的である海洋事故への対応を普及することに貢献できたのではないかと思います。

運営に関しては、運営事務局を当院職員で賄ったため、不行き届きな点があったかとは思いますが、何卒ご寛容くださいますようお願い申し上げます。

合併して新しいスタートを切った本学会が、両学会のそれぞれの経験を併せることによって日本の高気圧・潜水医学の発展に寄与し、本学会が益々発展することを祈念いたします。
